

2012 神奈川県消費者のつどい お集まりの皆様へ

2012 神奈川県消費者のつどいのご盛会を祝し、連帯のメッセージを送ります。開催に向けてご尽力いただいた実行委員会の皆様には心より敬意を表します。

私ども全国消費者団体連絡会（全国消団連）は 1956 年に結成された、全国 47 の消費者団体が集う、国内唯一の全国的な消費者団体の連絡組織です。神奈川県消費者団体連絡会を始めとする神奈川県内の消費者団体、そして全国の消費者団体とともに不良商品追放、公共料金や物価値上げ反対運動、有害食品追放、灯油裁判、環境、製造物責任法制定運動、そして消費者行政の一元化を進めて参りました。

「千年に一度」とも称される大震災に見舞われた東日本大震災の発災より一年の月日が経とうとしています。何よりもまず、東日本大震災による犠牲者の方々、ご遺族の方々に心より哀悼の意を表します。また、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所の事故により不自由な生活を余儀なくされているすべての方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

東日本大震災と原子力発電所の事故は、エネルギー・食料・住まいなど、私たちの暮らしのあり方そのものを問い直す契機となりました。未曾有の大震災・原子力発電所事故からの復旧・復興、被災者および避難者の生活の再建には長い年月と多くの困難が予想されます。

しかし、大規模なインフラ整備や産業復興だけに着目するのではなく、震災で失われた地域の絆や人々の生活の再建を第一に考え復興を進めることで、この困難な課題を必ずや成し遂げることができると私たちは信じます。

また、原子力発電の危険性が改めて世界の共通認識となろうとしつつある今、わが国が、原子力発電にも化石燃料にも依存しないエネルギー政策に転換し、段階的かつ可能な限り早期に原子力発電所を廃止していくことも必要です。

このような社会的なしくみの再構築こそが、今後、大規模地震が起きると想定される地域の人々の暮らしを守ることにもつながります。

大震災からの復興は、被災地だけでなく日本全体の課題であり、国民一人ひとりの課題です。東日本大震災が私たち消費者にもたらしたものは一朝一夕で解決できる問題でないことは明らかです。本日の皆様のテーマは「3.11 から 1 年 明日そして未来へ」と伺っております。全国消団連は皆様とともに、腰を据えて息長く学習し検討し社会に発信しつづけていきたいと存じます。これからもご一緒にがんばりましょう。

2012 年 2 月 28 日
全国消費者団体連絡会
事務局長 阿南 久